

# 奈文研から年輪年代法のデータ開示 報告

2025年11月22日  
丸地三郎

## 目次

1. はじめに
2. 解析ソフト **Past** の入手方法
3. 形式の違うサンプルデータの紹介
4. 開示された標準曲線パターンとその構築データ
  - 暦年標準Aパターン (1009年～1984年)
  - 暦年標準Dパターン (512年～1322年)
  - 暦年標準Eパターン (紀元前37年～838年)
  - 暦年標準Fパターン (紀元前317年～257年)
  - 木曾ヒノキ暦年標準パターン (紀元前705年～2005年)
  - 埋木15点年輪パターン (紀元前912年～紀元前94年)
  - 「補足」暦年標準パターン (紀元前447年～257年)
5. 開示された年代測定データ (試料年輪データと暦年標準パターン名称)
6. 年輪検証の意見交換募集
7. 「年輪検証の意見交換コーナー」のページ

## 開示された暦年標準パターンの種類と開始/終了年の表

西暦	-500	0	500	1000	1500	2000
				512 D 1322		
		-37 E 838			1009 A 1984	
		-317 F 574				
	-705	木曾ヒノキ				2005
	-912 埋木 -94					
		-447 補足 257				

【勝山古墳板材】

- 公開請求番号：BBB-6
- 出典：『大和・纏向遺跡』（2006）
- フォルダー：130¥014-001
- 使用暦年パターン：「補足」暦年標準パターン（紀元前447年～257年）
- 試料No./柱No.：なし

資料体仮ID	年輪数	測定年代	ファイル名
奈良県勝山池第4次No132 第1区 くび木部周濠埋土010220 ヒノキ板材B=3.1 再側	110+1	198+1	014-001

【纏向石塚古墳板材】

- 公開請求番号：BBB-7
- 出典：『大和・纏向遺跡』（2006）
- フォルダー：035¥54
- 使用暦年パターン：暦年標準Eパターン（紀元前37年～838年）
- 試料No./柱No.：なし

資料体仮ID	年輪数	測定年代	ファイル名
MAKIMUKU-CHA1	246+2	175+2	54.p4p   54.DAT

```

<html version="1.0" encoding="UTF-8">
<?xml version="1.0" ?xml:lang="ja" ?xml:base="http://www.w3.org/1999/xhtml" ?xml:stylesheet="http://www.w3.org/1999/xhtml" type="text/html">
<head>
<meta charset="UTF-8" />
<title>P4P形式</title>
<script src="/js/p4p.js" type="text/javascript"></script>
</head>
<body>
<div id="p4p">
<div id="p4p_header">
<div id="p4p_header_title">P4P形式</div>
<div id="p4p_header_subtitle">最初のページ</div>
</div>
<div id="p4p_content">
<div id="p4p_content_title">P4P形式</div>
<div id="p4p_content_subtitle">最初のページ</div>
</div>
</div>
</body>
</html>

```

# 閲覧者から意見入手/交換

## 年輪検証の意見募集

奈文研からの公開年輪データを検証してみてもコメントを募集いたします。

## 年輪検証の意見交換

### スレッドへのダイレクト・ジャンプ

[発言 1 ～ 5](#) (2025/06/13～06/29)

[発言 6](#) (2025/06/29)

[発言 7](#) (2025/07/08)

[発言 8](#) (2025/08/07)

[発言 9](#) (2025/08/15)

[発言 1 0](#) (2025/09/12)

[発言 1 1](#) (2025/09/12)

[発言 1 2](#) (2025/09/12)

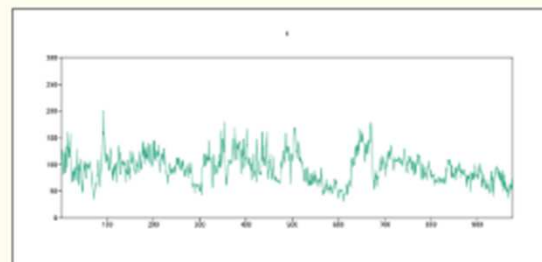
### ▼ コメント

**発言1:** (2025/06/13)

早速、Past 5.2.1をインストールし、データを一個だけダウンロードし、4列目を選んで、単純にグラフで描画してみました。

これからアプリケーションの使い方を覚えているいろいろなデータを見ていきたいです。30年近く諦めていた願いが叶い、夢のようです。

勉強にはまだまだ時間がかかると思いますが、腰を据えて取り組めば、いろいろ見えてきそうです。



発言9-2：（2025/08/16）

いろいろお教えいただきありがとうございました。

『暦年標準パターンをそのまま使用するのではなく、元データから標準化したりして作り直している』

その通りです。年輪年代法の基本に沿った方法です。

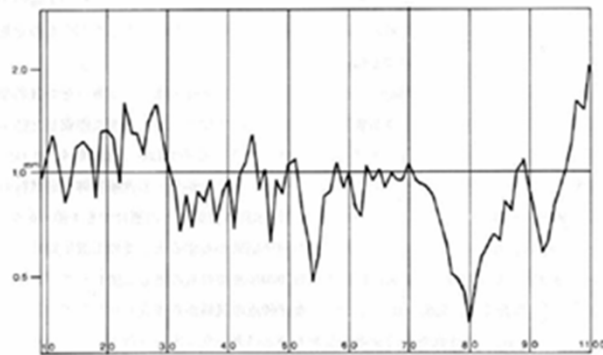
今回の検証を見ても、前の方の検証を見ても正しく検証できているので、年輪年代法によって出された結果は正しいだろうと私も予想します。

発表された数値データから作成した  
暦年標準パターンが、  
雑誌記事中のグラフと合わないことが判明した。

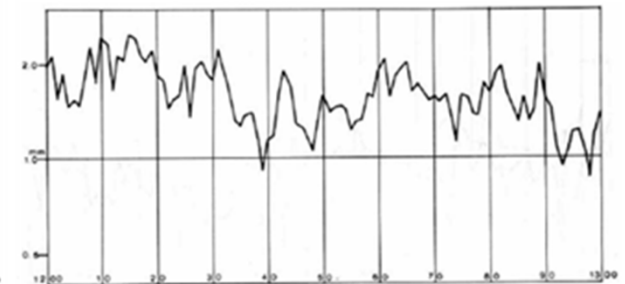
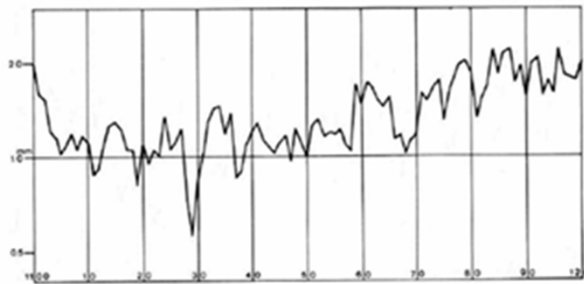
- 2025年11月16日に開催された第33回「樹木年輪」研究会は、長野県で開催
- 口頭発表:「奈良文化財研究所から開示された年輪年代関連データの評価」 - 丸地三郎
- ポスター発表:「日本古代史の探究と年輪年代法」とのテーマで、 - 清水徹朗

## 1. ヒノキの暦年標準パターンA

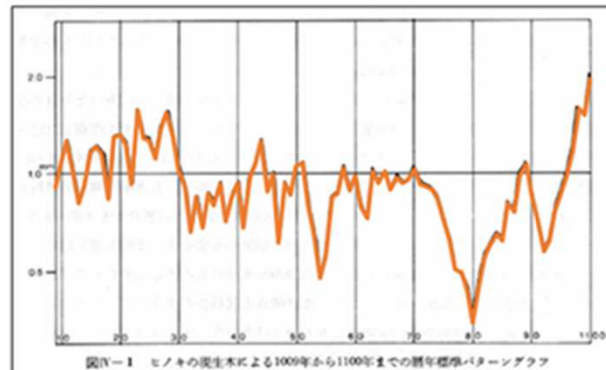
書面から取り出したグラフ100年分の図3枚(上図)と数値データから作成したグラフを重ねた図(下図)



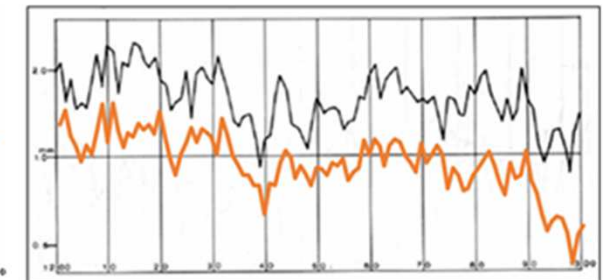
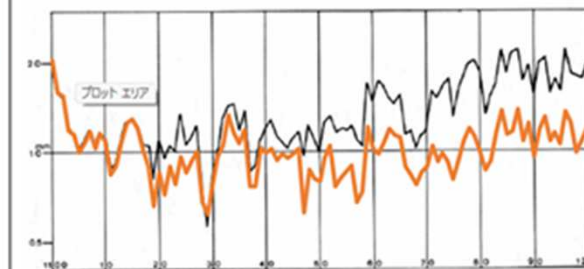
図IV-1 ヒノキの国生木による1009年から1100年までの暦年標準パターングラフ



書面から取り出したグラフ



図IV-1 ヒノキの国生木による1009年から1100年までの暦年標準パターングラフ

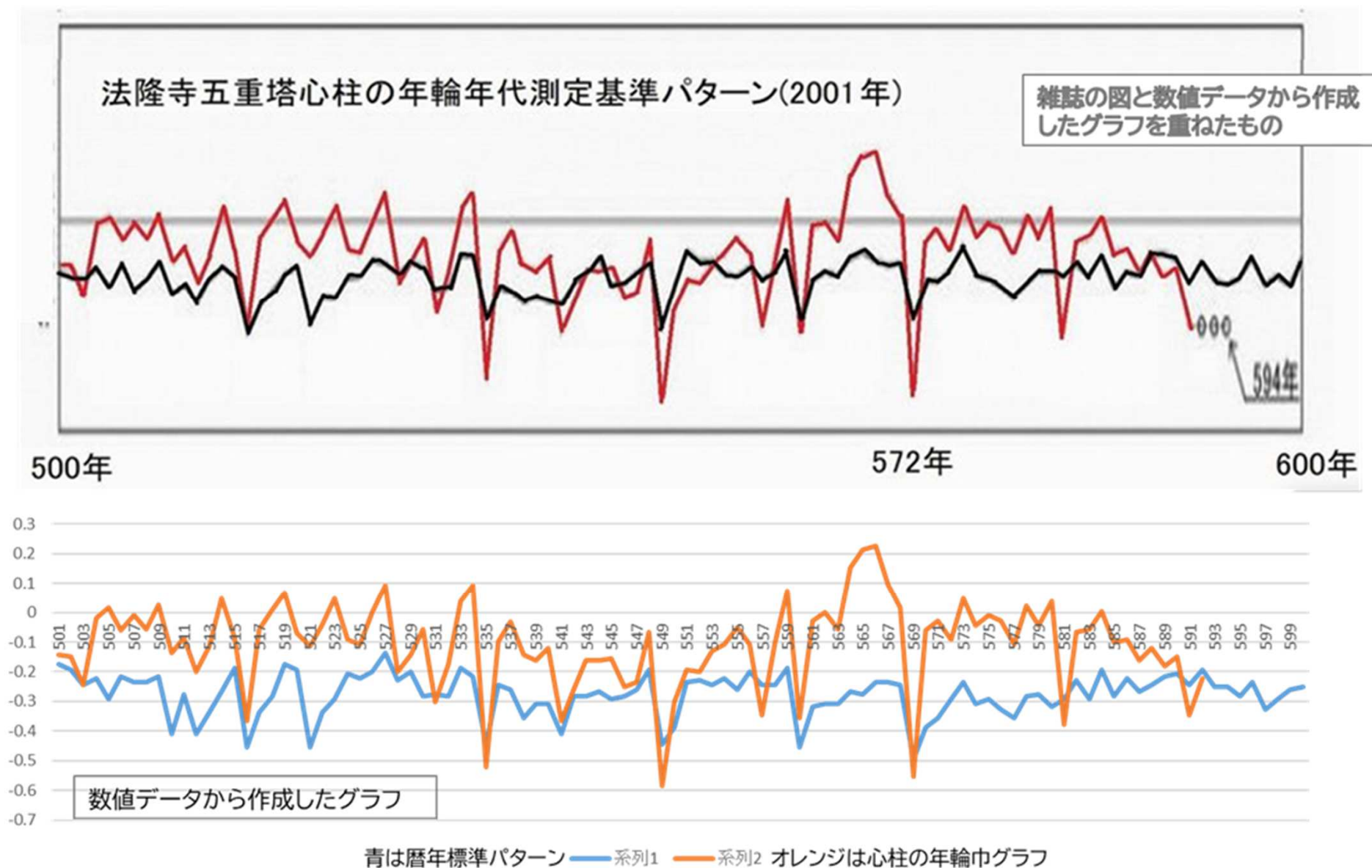


数値データから作成したグラフ



# 雑誌記事との違い

## 2. 暦年標準パターンEと法隆寺五重塔心柱パターン 書面と数値データの対比



# 口頭発表:要旨の抜粋

- ・開示データの検討と評価 : 公開された数値データを複数の方が検討した結果、計測対象の年輪幅データを暦年標準パターンと照らし合わせた結果は、光谷氏が発表してきた年代に沿うものと判明した。
- ・しかし、その後、暦年標準パターンが発表された雑誌記事中のグラフと合わないことが判明した。そこで、奈文研が発行した書籍『年輪に歴史を読む』に記載された暦年標準パターンAのグラフや、法隆寺五重塔心柱の年代計測の例など7例について比較検討を行い、下記の結果を得た。

		調査試料	暦年標準パターン
1	暦年標準パターンA		パターンA:書籍と不一致
2	法隆寺五重塔心柱	書籍と一致 / ∴	パターンE:書籍と不一致
3	纏向石塚板材	書籍と一致	パターンE:書籍と不一致
4	勝山池板材	書籍と不一致	パターン補足:書籍と不一致
5	法隆寺五重塔雲斗		パターンE/木曽/D: 書籍と不一致
6	東大寺法華堂通肘木		
7	室生寺五重塔心柱		
∴ 法隆寺五重塔心柱:光谷氏の年輪巾データは小原二郎氏の測定結果と相違			

- ・年代調査試料の年輪巾データに関しては、2件が発表値と一致したが、1件は一致しなかった。
- ・さらに、暦年標準パターンに関しては、全件で不一致が確認された。
- ・従って、再検証の目的で公開を要求し、公開された年輪データではあるが、残念ながら、再検証には不適切と判断している。



- このグラフによる検討と判断が適切であるかについて、樹木年輪研究会の皆様からのご意見をいただきたい。
- 参加した研究者と質疑応答を行ない、下記の意見を得た。
  - グラフの対比方法は、特に問題ない。
  - 納得のいかないデータ。
  - 解決するのは奈文研の仕事。
- 今後、奈文研側のご意見をお伺いする予定。